KOMERI.COM

カイガラムシの対策

カイガラムシは、その名の通り貝殻に似た殻をかぶって定着しているものから、足があり移動するものまで多種多様です。植物の枝や茎・葉などに寄生して汁を吸うため、被害が進むと枝枯れから枯死にまで至ります。また排せつ物は、すす病やこうやく病などの病気を誘発します。大切に育てた植物を守るには、きちんとした対策をしましょう。

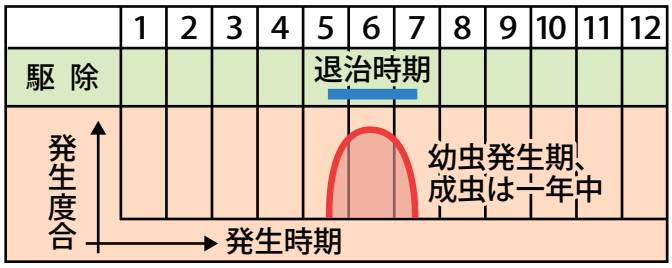
被害と防除法

■ 被害と症状

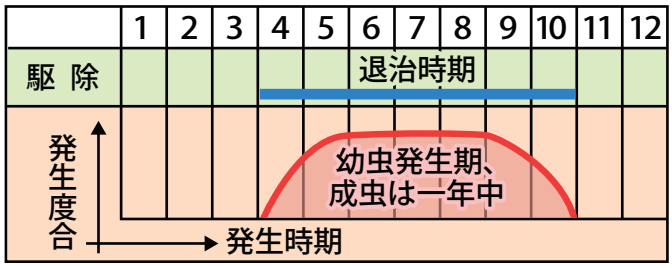
カイガラムシは、主に枝や幹および葉などについています。その形状はオワン型や偏平で円形・だ円型のものがおり、ふわふわした白い綿状のようなものの中にワラジのうな形の本体を持つものもいて、大きさや色も様々で、大きさや色も様々で、大きいものは10㎜くらいの種類もいます。カイガラムシは植物の樹液を吸って害を与えるため、枝などにびっしりと寄生されると生育が著しく悪くなるだけでなく、植物全体が黒く汚れてくるすす病の原因になり美観を損ねます。

■ 防除法

ラン・サボテン・観葉植物や花木・庭木・果樹などに寄生しますが、草花や野菜類にはあまり寄生しません。カイガラムシの種類は非常に多く、成虫になると一生涯同じ場所に固着するカタカイガラムシ類やマルカイガラムシ類、足があり自由に動きまわるコナカイガラムシ類など様々です。習性や形態はそれぞれで異なりますが、いずれも体の表面が固いカラで覆われていたり、白いフワフワした綿状のロウ質で覆われています。最も防除が困難な害虫ですが、カイガラムシの幼虫は薬剤に弱いため、抵抗力の弱いふ化直後（5～7月）の防除適期に定期的に薬剤を散布して防除してください。



▲ツノロウムシ、ルビーロウムシ



▲コナカイガラムシ類

薬剤の選び方

■ エアゾールタイプ

鉢物や、散布面積が小さい場合
応急処置をしたい場合

■ 水で薄めるタイプ

鉢数が多い場合
広範囲の害虫を退治したい場合

Howto・なでこ
動画でもっとわかりやすく!
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。

How To 情報
コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいやくらしに役立つノウハウが満載です。

Copyright©KOMERI Co.,Ltd. All rights reserved.